

社会福祉法人こしば福祉会「理念・基本方針」及び「中長期計画」等の策定にあたって

社会福祉法人こしば福祉会は、平成2年（1990年）9月に三重県知事の設定認可を受けて、平成5年（1993年）7月に「介護老人保健施設トマト」を開設し、その後通所リハビリテーション・サービス付き高齢者向け住宅「有料老人ホームさくら」・居宅介護支援・ヘルパー事業を実施して、令和3年には法人設立30周年を迎えました。

本法人設立時に、法人の「理念・基本方針」を定めて事業運営に努めてまいりましたが、法人設立30周年を契機として、現在の法人運営、幅広い事業運営をはじめ、多様化する福祉ニーズ、社会福祉及び高齢者福祉の動向も踏まえ、本法人の新たな「理念・基本方針」を策定することとしました。

また、これまで本法人では具体的な年次計画を策定していないことから、本法人の「中長期計画（3か年事業計画）」及び「短期事業計画（1か年計画）」を策定することとし、令和4年度から法人内部に関係職員による検討委員会を設置し、「理念・基本方針」及び「中長期計画」等の検討を進め、令和6年3月に策定しました。

今後は、今回策定の「理念・基本方針」及び「中長期計画」等に基づき法人運営を適切に行い、ご利用者様、ご家族の皆様そして地域の皆様から信頼される法人となるよう努めてまいります。

令和6年3月
社会福祉法人こしば福祉会
理事長 山口 和夫

理念と基本方針

〈理念〉

一、利用者の尊厳を守り、家族や地域に信頼される

「安全」で「安心」な福祉サービスを提供します。

〈基本方針〉

一、利用者の人権を尊重し、

一人ひとりのニーズに沿った支援を行います。

一、自治体や医療・福祉機関等と連携し、

地域福祉の向上に努めます。

一、福祉施設として必要な人材の育成を行い、

サービスの質の向上を図ります。

一、法令等を遵守し、福祉施設として

地域に信頼される健全な運営を行います。

社会福祉法人こしば福祉会

職員一同

社会福祉法人こしば福祉会 中長期事業計画（令和6年度～令和8年度）

| 基本方針 | 提出部門 | 現状課題 | 将来あるべき姿 | ビジョンを達成するための方法（方針） | 実施部門 | 責任者 | 期限 | スケジュール | | |
|--------------|--------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|--------|--------|-----|-----|
| | | | | | | | | R6年 | R7年 | R8年 |
| 利用者に対する基本方針 | 入所棟 | 寄り添う介護に努め、信頼関係を深める。 | 利用者の人権を尊重した接遇のスキルをもった職員になる。 | ・接遇の目標を定め、周知し評価する。 ・不適切な対応を話し合い、改善策を検討する。 | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9. 3月 | | | |
| | | | | | さくら | 管理者 | R9. 3月 | | | |
| | | | | | 教育委員会 | 教育委員会 | R9. 3月 | | | |
| | 入所棟 | ・利用者の日常生活に変化を設ける。 ・家族との接点を意識して増やす。 | ・季節感を取り入れ利用者に喜んでいただき「笑顔」での生活を送れる。 ・家族に笑顔での生活を届けて安心していただける施設となる。 | ・季節感のある年間の企画を行う。 ・月間のアメニティ作成には、利用者と一緒にを行い、満足度を調査する。 ・家族通信や面談を行う。 | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9. 3月 | | | |
| | 支援室 | 感染症により、家族面会の制限、それに伴う利用者家族との接点が減少している。 | 利用者の状況・日々の様子を家族との共有が出来ており、職員と利用者家族との信頼関係を構築した施設となる。 | 入所時カンファレンスや、入所後のケアプランの説明時に各部署の担当職員から情報提供を行うことで日々の様子や、家族の要望等情報を共有し解決を行うことで、家族から信頼される施設となる。 | 各部署 | 支援相談員、介護支援専門員 | R9. 3月 | | | |
| さくら | 近隣に買い物ができる施設が乏しい。 | 施設内で生活必需品が入手でき、豊かな生活が送れる。 | 多様な移動販売を導入し、交通の便が悪いデメリットをカバーする。 | さくら | 管理者 | R9. 3月 | | | | |
| 社会本に方針する | 入所棟 | 専門性を生かした地域社会との連携が不足している。 | 地域から信頼され、選ばれる施設となる。 | 実習生の受け入れを通じて、養成校との連携を図るとともに、施設への理解を深めてもらう。 | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9. 3月 | | | |
| | | | | | 通所 | 室長 | R9. 3月 | | | |
| 福祉人材に対する基本方針 | 入所棟 | 職員間のコミュニケーションが少なく意見交換する場が不十分である。 | やりがいがある職場づくりを目指し、組織の目標を達成できるチームとなる。 | ・スタッフ会の定例化(常勤・パート)を実施する。 ・自分の意見をもってディスカッションできる関係づくりを行い、PDCAサイクルを繰り返す。 | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9. 3月 | | | |
| | | | | | 通所 | 室長 | R9. 3月 | | | |
| | | | | | 訪問 | 管理者 | R9. 3月 | | | |
| | リハビリ課 | リハビリ対応職員が理学療法士のみである。 | 様々なリハビリ対応が可能な人員が配置され、特色を活かしたサービスの提供を行う。 | 雇用時間や形態を工夫し、多様な働き方ができる職場環境を構築し、リハビリ対応に必要な職種の職員を確保する。 | リハビリ課 | リハビリ主任 | R9. 3月 | | | |
| | 法人 | 事務長 | R9. 3月 | | | | | | | |
| ヘルパーステーション | 慢性的に職員が不足している。 | 安定して職員が確保され、質の高い介護サービスの提供ができる。 | ・人材育成の取り組みの検討や、処遇の見直しを行い、必要な職員を確保する。 ・前向きな異動の検討をし、他部署での経験を積みスキルアップを図る。 | 法人 | 事務長、事務主任 | R9. 3月 | | | | |
| 法人 | 計画的に外部研修へ職員を派遣する。 | 職員の段階的なスキルアップのための研修への参加が計画的に行われている。 | 職員の研修を担当する職員を置いて、職員ごとに参加した研修のリストアップを図り、研修計画を作成し、職員を派遣する。 | 法人 | 事務主任 | R9. 3月 | | | | |
| | | | | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9. 3月 | | | | |
| | | | | さくら | 管理者 | R9. 3月 | | | | |
| 法人 | コンプライアンス教育が不十分である。 | コンプライアンスを尊重した事業運営、職員への意識啓発を行う。 | コンプライアンス教育の徹底、内部通報制度、苦情処理体制を充実する。 | 法人 | 理事長、施設長、管理者、事務長 | R9. 3月 | | | | |

社会福祉法人こしば福祉会 中長期事業計画（令和6年度～令和8年度）

| 基本方針 | 提出部門 | 現状課題 | 将来あるべき姿 | ビジョンを達成するための方法（方針） | 実施部門 | 責任者 | 期限 | スケジュール | | |
|----------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------|-----------|-------|--------|-----|-----|
| | | | | | | | | R6年 | R7年 | R8年 |
| マネジメントに対する基本方針 | 入所棟 | <ul style="list-style-type: none"> 備品の整理が不十分である。 耐久年数を超過した備品が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 備品台帳の整理による備品管理を行う。 備品管理を行う担当者を選定する。 | 備品の適正なる数・量・耐久年数を表示し、備品の予算や優先順位を整理する。 | 入所棟 | 看護・介護リーダー | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 通所 | 室長 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | リハビリ課 | リハビリ主任 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 訪問 | 管理者 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 支援室 | 支援相談員 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | さくら | 管理者 | R9.3月 | → | | |
| | 法人 | 事務主任 | R9.3月 | → | | | | | | |
| | リハビリ課 | 職種間の情報共有が不十分である。 | タブレット等を活用し、情報のリアルタイム化を行的確かなサービスの提供を行う。 | マニュアルや業務フローを作成し、全職員が理解できるように操作方法の指導、業務内容（手順）を可視化する。 | 入所 | 看護・介護リーダー | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 通所 | 室長 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | リハビリ課 | リハビリ主任 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 訪問 | 管理者 | R9.3月 | → | | |
| | | | | | 支援室 | 支援相談員 | R9.3月 | → | | |
| さくら | | | | | 管理者 | R9.3月 | → | | | |
| 法人 | 事務主任 | R9.3月 | → | | | | | | | |
| 通所・リハビリ課 | 使用しているリハビリ器具が老朽化、旧式化している。 | 個別のニーズ・多様な疾患に対応できるリハビリ器具を導入する。 | 老朽化、旧式化した器具の状況把握と適切な器具の情報を収集し、利用者に対して最善の器具の導入を行う。 | 通所 | 室長 | R9.3月 | → | | | |
| | | | | リハビリ課 | リハビリ主任 | R9.3月 | → | | | |
| 法人 | | | | 法人 | 事務主任 | R9.3月 | → | | | |
| | | | | 通所 | 室長 | R9.3月 | → | | | |
| 法人 | | | | 法人 | 事務長 | R9.3月 | → | | | |
| | | | | 通所 | 室長 | R9.3月 | → | | | |
| 支援室 | 安定した入所利用者の確保が不十分である。 | 入所利用者が円滑に入退所が行える施設となる。 | 医療機関・居宅事業所など地域と密接な繋がりがある機関等と連携し、定期的に空床案内など施設情報を発信し、安定した利用者確保に努める。 | 支援室 | 支援相談員 | R9.3月 | → | | | |
| 支援室 | 基本報酬が基本型に留まっている。 | 介護老人保健施設の役割を担う施設となる。 | 基本報酬の加算型以上への移行の推進、それに伴う施設運営の改革を行う。 | 支援室 | 支援相談員、介護報酬検討委員会 | R9.3月 | → | | | |
| 法人 | 危機管理体制が不十分である。 | 停電・断水時、災害時における業務運営（BCP）を確保する。 | 停電時の非常電源確保、断水時の水の確保、備蓄、災害時の食料、医薬品等を確保する。 | 法人 | 理事長・事務長、事務主任 | R9.3月 | → | | | |
| 法人 | 施設の老朽化が進んでいる。 | 利用者が安心・安全に施設を利用できる。 | 大規模修繕積立金を積立し、施設の現状把握を行い、不備がある箇所を計画的に修繕を行う。 | 法人 | 理事長・事務長、事務主任 | R9.3月 | → | | | |